



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和 7 年 7 月 22 日 (火)
第 3 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 1
FAX 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 2

「夢をかなえた生徒たち」

校長 佐藤 貴雄

学校だより第1号では「夢を見ることができる大人になりましょう」と題しまして「夢を見て挑戦していきましょう」とお伝えしました。書き終えたとき、教員人生で出会った「夢をかなえた生徒たち」の顔が沢山浮かんできました。どの生徒も笑顔と優しい瞳をしていました。

その中で私が初任者だった時のエピソードを一つ紹介したいと思います。

工業高校で教員生活3年目、2年生の担任をしていた私は、「工業クラブ大会」という生徒による工業関係の研究に関する大会の存在を知りました。LHRの時間にその話を学級ですると興味を持った生徒が3名。後に2名が加わり、計5名でその大会に参加しようということになりました。学校にはその大会のノウハウはなく、指導する私も未経験。誰が見ても無謀な挑戦が始まりました。

水質調査をテーマとし、「石狩川」「空知川」全域からサンプルを採取・分析。そこから得られた河川の状態等を発表するということになりました。生徒は夏休みすべてを使い調査・研究に打ち込んでいました。当時はまだ珍しかったパワーポイントや動画を用いた資料を作成。毎日のように朝から晩まで発表練習をしていました。

生徒の目標は「全道2位」。1位になると全国大会と見学旅行の日程がぶつかってしまうので、「2位がいい!」とのことでした。

大会当日。発表順は3番目。緊張をほぐす間もなく舞台袖に入っていく生徒たち。観客席で見守ることしかできない私。いざ始まると私の心配は杞憂に終わりました。いつものように楽しそうに発表している子供たち。なんの根拠もないのに勝ったと感じていました。結果は目標の2位。狙い通りの順位に皆大興奮。優勝した学校よりも大喜びの私たち。皆、涙を浮かべながら最高の2位のトロフィーと賞状を見ていました。その時の生徒たちの「瞳」は私の生涯の宝物です。

生徒の皆さん、「夢」は見つかりましたか？

この暑い夏休み、なんでも良いので挑戦し、自分の夢を見つける、そんな暑い夏にしてください。

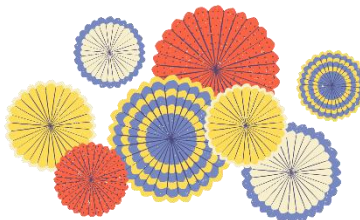
保護者等の皆様におかれましては今学期の本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。これから長い夏季休業期間に入りますが、ぜひ様々なことに挑戦できる、そんな夏休みにしていただけると幸いです。夏休み明け、元気に、お土産話をたくさん持ってくる生徒の姿を待っております。

学校祭 作業体験

第13回星華祭を7月4日（金）、5日（土）に行いました。オープニングは、生徒会が作成した「学校祭の楽しみ方」をテーマにした、3つのショートムービーを観て楽しみました。続いて、企画委員によるレクリエーションでは、全校生徒で「だるまさんの1日」、「ジェスチャーゲーム」を楽しみ、一体感を味わいました。お昼の焼き肉パーティーは、クラス毎にうちわで火起こしを行い、炭火を囲んでクラスの親睦を深めました。後半は、有志によるカラオケ、ダンス、作曲の披露などで盛り上がりしました。

2日目の一般公開は、多くの方に来場していただき、学年ごとに準備してきたステージ発表を観ていただきました。どの学年も仲間と協力して準備してきたことが伝わってくる内容で、一人ひとりが輝いていました。その後は、模擬店、作業体験会で来場者の皆さんをおもてなしました。みんなで一緒に作り上げた学校祭、まさに今年のテーマ『「笑顔満祭」～えがおで満ちあふれた星華祭に～』となったのではないかと思います。学校祭の開催にあたり、保護者、地域の皆様には御理解、御協力をいただき、ありがとうございました。

生徒指導・保健体育部 水口 哲夫



学校祭で行う地域向けの「作業体験会」は今年で2年目となりました。昨年度は、当時の3学年の人数が少なかったことから2つのブースでの実施となりましたが、今年度は各学年の作業種をメインに体験会を実施しました。1学年は清掃作業の一つとして「窓清掃」を、2学年は縫工作業から「ミシン作業」を、3学年は図書館作業や記念品製作作業で行う「シルクスクリーン作業」を選択し、体験会を行いました。中でも2学年と3学年の作業は連携して、コースター作りに取り組みました。ミシンでコースターを縫い、選んだ柄をシルクスクリーンで染色することで、体験者オリジナルのコースターを作っていただくことができました。

最後になりますが、暑い中、作業体験会に参加していただき、ありがとうございました。

学科長 津 辻 貴 之